

第1回『開塾式』

[日 時] 令和2年7月18日（土）18:30～20:30

[場 所] 東松島市矢本東市民センター

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう ～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』第9-1号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●塾長挨拶（木村塾長）

概要：新型コロナウイルスの影響により延期して開塾式を迎えることができました。耕人塾の趣旨は、昨年度に引き続き、「石巻地域の中・高校生の人間力を磨き、地域社会に貢献する人材を育成し、併せて、大学生や市民の学びの場にする」ことです。

第9期の耕人塾の開始に当たり、絶対不変の四原則である「①人間は死ぬ。永遠ではない。」「②自分の人生は自分でしか歩めない。」「③人生は一度きりである。」「④自分という人間は世界に一人しかいない。」）についてお話し、「主体・楽しさ・創造」をコンセプトに自ら課題を設定して人間力を磨いてほしいと、塾生を激励しました。



自らの「人間力」を磨こうと入塾した25名の塾生たちを激励する木村塾長

●今年度の活動について（前田教学委員長）



昨年度の活動を振り返り、今年度の取り組みの説明を受けている塾生

●講話「耕人塾と私 過去～現在～未来」

(株式会社 Tomo 代表取締役 耕人塾 OB 一期生 高橋 智幸 教学委員)

高校生の時に、耕人塾第1期生として学び、現在は、耕人塾の教学委員として塾生の指導に当たっています。また、今年の7月に会社を立ち上げ、経営者として仕事をしていることや地域の中学生に硬式野球を指導していることなど話されました。

耕人塾第9期は、新型コロナウイルスの感染拡大があり、思ったことができなかつたりしていますが、塾生一人一人が楽しみながら、前向きな行動力で創り上げてほしいと塾生にエールを送りました。



「何をやるか」ではなく「どうやるか」。この発想が大事と語る高橋教学委員



この地域の主役はみなさん一人一人です。そして、これからの地域を創るのは皆さんです。
「やるなら、今しかねえ!!」と熱く語り、締めくくりました。

●交流活動

「今の自分にできることは何か」「どんなことをやってみたいか」塾生と教学委員が各班に分かれて、意見交換を行いました。



塾生一人一人の考えに耳を傾ける塾生、そして、見守る教学委員



「地域のためにできることは何か」と、塾生と一緒に考えている教学委員



石巻地域を世界に誇れるまちにするために意見を出し合う塾生と教学委員

●閉会のあいさつ（横江運営委員長）

「汗かけ」「恥かけ」「字をかけ」の三かけがあります。自ら苦勞し汗を流す（汗かけ）。恥ずかしさを乗り越える勇気（恥かけ）、大事なことはメモをとる（字をかけ）といったことを大切にしながら第9期を創ってほしいことを伝え、締めくくりました。

メニュー

ホーム



耕人塾の活動



令和2年度の活動



第6回 閉塾式

第5回

実践活動（ゴミ拾い）

第4回 「笑顔はぐくむ復興の森植樹会」への参加

第3回

第2回

第1回 開塾式

令和元年度の活動 >

平成30年度の活動 >

平成29年度の活動 >

平成28年度の活動 >

平成27年度の活動 >

平成26年度の活動 >

平成25年度の活動 >

平成24年度の活動 >

報道・受賞